

学校運営協議会 議事録

校名	府立高槻北高等学校
校長名	奥谷 彰男

開催日時	令和元年11月12日(火)16:00～18:00
開催場所	府立高槻北高等学校 1階 校長室
出席者(委員)	米津俊司会長、本村康哲委員、小澤康信委員、中村利久子委員 柏原泰和委員、山口育男委員
出席者(学校)	奥谷彰男(校長)、伊藤倫隆(教頭)、赤岸孝紀(事務長)、 本村眞章、相澤 崇、安田正彦、高木佐智子
傍聴者	0人
協議資料	冊子資料 ①第2回学校運営協議会次第／委員名簿ならびに本校出席者一覧 ②教志コース生の卒業後の進路について ③令和元年度第1回学校教育自己診断集計結果報告 ④平成31年度(令和元年度)学校経営計画及び学校評価 ⑤令和2年度使用教科書採択一覧表 ⑥第1回学校運営協議会 議事録 ⑦配席図 別添資料 ⑧第2回学校教育自己診断・授業アンケート質問項目 ⑨第1回学校教育自己診断(自由記述) ⑩北高NOW(学校便り)
備考	

議題等(次第順)	
1 開会宣言(教頭)	
2 開会挨拶(校長)	
3 本校の現状と課題	○教志コース生の高校卒業後の進路について(安田教諭) ○第1回、第2回学校教育自己診断、授業アンケートについて(本村首席) ○令和2年度教科書採択結果について(教頭) ○平成31年度学校経営推進費について(校長、本村首席、相澤首席)⇒3階学習室西に移動
4 質疑応答、協議	
5 閉会挨拶(校長)	
10 閉会宣言(教頭)	

協議内容・承認事項等(意見の概要)	
本校の現状と課題および質疑応答ならびに協議について 米津会長が司会を勤め、議事進行を行った。 ①「教志コース生の高校卒業後の進路」について 安田教諭が資料に基づき、1期生から3期生の大学卒業後の進路調査結果を説明した。 1期生は社会人1年目。大学卒業後11名が教職に就いた。3期生は短期大学卒業し教職に就いている者がいる。3期生までで教員になった者は17名。 ・教志コース以外の生徒の進路先はどうなっているのか。(小澤) →8割が文系、2割が理系。教志コースがあることによって、コース生以外の生徒の進路意識が高まっているという側面がある。 ・北高の特色として教志コースを作り7年目。本当に教師になるためのコースなら、回答者のうちであっても17名という数は少ない。講師もカウントしてよい。(米津) ②「学校教育自己診断結果」について 本村首席が、結果資料に基づいて説明し、項目のポイントとして、「生徒指導上のルールが厳しい」という意見が多い、「平日の勉強時間」では、1・3年と全体で今年度は数値が上がった。また、「スマートフォンの利用時間」は増加している点を報告した。 ・生徒指導について、学校全体がワンチームになり、理由をはっきり伝えるのがいい。生徒会から出た運動なら反発もない。(柏原) →今年は文化祭前に生徒指導部長が生徒の意見を取り入れると言い、実行した。 ・北高は、制服・部活動は評判がいい。以前に比べると校則が厳しくなったようだ。きっかけは何か。(山口) →10年程前、制服を変えた。教志コースもその頃構想した。服装マナーも遅刻数も今の方が改善されている。 ・北高生は小学生の模範になっている。あいさつ運動も大きな声を出している。その面は社会で評価されているということを生徒に伝えてほしい。(中村) ・規則が厳しいというが、何が厳しいのかわからない。ただこの状況は健全だと思う。スマートフォンの使用についてのルールはどうか。行事での使い方の問題となったケースがあるが。(米津) →入学直後に実施しているスマートフォンの講習会は効果がある。	
③「令和2年度教科書採択結果」について 伊藤教頭が、資料記載の教科書を採択したことを説明し、承認を求めた。 ・選定委員会のシステムについて、形式的になる恐れはないのか。(米津) →選定委員会を設けて検討している。 ⇒運営協議会として、承認。 ④学校経営推進費によるICT機材のデモンストレーションならびに協議について ⇒3階学習室西に移動し、その場で質疑応答。相澤首席がWiFiを操作し、説明した。 ・費用対効果はどうなっているか。(本村委員) →教材を共有化しやすい。効果が期待できる。 ・教材の共有化は、教科ごとにコミュニティーを作らないと進まない。(本村委員) ・ICTについては、研修しないといけない。次回は、若い先生やベテランの先生の授業も見せていただきたい。(米津)	
次回の会議日程	
日時	令和2年1月29日(水) 16:00～18:00
会場	府立高槻北高等学校 1階 校長室